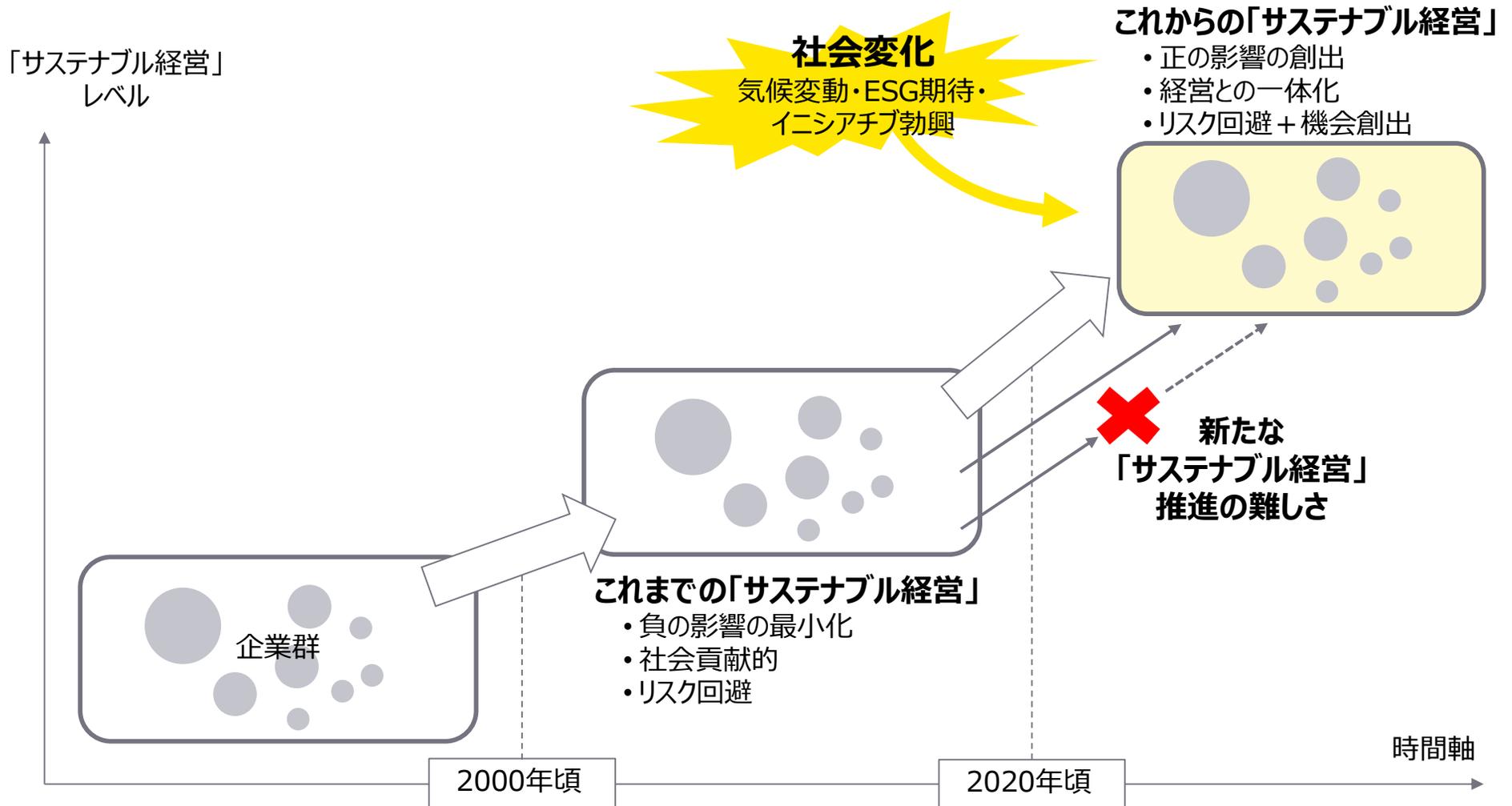


企業にとっての「サステナブル経営」の意味合いの変化

「サステナブル経営」という言葉が持つ意味合いは、変化しています (社会貢献的な位置づけから、経営戦略と不可分な位置づけへ)



「サステナブル経営」を巡る企業への取組・開示の期待の高まり

社会が企業に求める開示アジェンダと項目が拡大しています

	~2017年			2022年~		
気候変動		<p>(‘18)CDP 気候変動ガバナンス、リスクと機会などの質問の追加</p> <p>(‘18)DJSI CDP・TCFDに整合した内容へ（新規質問の追加と対象業種の拡大）</p> <p>(‘18)FTSE Climate Action 100と整合した内容へ</p>	<p>(‘19)DJSI 低炭素計画に関する項目追加（持続可能なエネルギーへの移行に伴った企業の戦略とビジネスモデル移行を評価する設問へと見直し）</p>	<p>(‘21)CDP 低炭素計画に関する項目の新規追加</p> <p>(‘21)DJSI EV車に関する設問・気候リスク関連の設問を追加</p> <p>(‘21)FTSE 低炭素社会への移行準備度合への評価項目を追加</p>	<p>(‘22)CDP 低炭素計画に関する指標の追加（戦略とビジネスモデルが着実に移行へと進んでいるかを評価する設問が設定。また、RE100加盟企業用に専用の設問が用意される予定）</p>	<p>変化サマリ</p> <p>低炭素社会に向けた具体的な移行計画が評価される様に（EV関連項目も追加）</p>
水	<p>(‘17)DJSI 水関連項目の見直し（水関連リスクのマネジメントや事業の水リスクに関する項目の追加・見直し）</p>	<p>(‘18)CDP 水リスクの評価や戦略への取組などを新規追加し、TCFDや気候変動質問書に整合する内容へと大幅に変更</p>	<p>(‘19)DJSI 水関連指数（水消費量）を売上高単位で他社比較</p> <p>(‘19)FTSE 水関連項目の見直し（ガバナンス、戦略、リスク管理、指標、目標に焦点）</p>	<p>(‘20)CDP 水ストレス地域での活動を重視した質問内容へ変更</p>	<p>(‘21)CDP 排水の処理レベルに関する項目を追加（企業の排水のモニタリングの有無を確認）</p>	<p>TCFDに準じた項目の開示に加え、開示項目の詳細化が進む</p>
資源循環・廃棄物			<p>(‘19)DJSI 廃棄物関連指数を売上高単位で他社と比較</p>	<p>(‘20)DJSI 製品における資源の定量化項目の追加（リサイクル率、リサイクル・持続可能資源量、有害物質使用量の開示）</p>	<p>(‘21)DJSI 消費を含む製品ライフサイクルを考慮した設問の更新（LCAやリサイクルを考慮した包装や製品スチュワードシップを評価する項目を追加）</p>	<p>資源循環に資する項目の開示が求められる様に</p>
生物多様性		<p>(‘18)DJSI 生物多様性へのコミットメント・エクスポーザーと影響評価に係る項目の追加（生物多様性の定期的な影響評価と管理プラン、対応策の開示が必要）</p>		<p>(‘21)DJSI 生物多様性項目の見直し（エクスポーザー・影響評価に関する項目の見直し、森林破壊防止の項目を新規追加）</p> <p>製品LCAの設問を更新（4年分のLCAデータを要求）</p>	<p>(‘22)CDP IUCNのガイドラインに沿った生物多様性項目の追加（影響評価、戦略・目標、指標、実績に関する設問の追加）</p>	<p>影響評価に加え、今後の戦略・目標等の開示が求められる様に</p>
森林			<p>(‘19)CDP 森林関連リスク対応を財務レポートへの報告有無の設問を新規追加</p>	<p>(‘20)CDP 生態系復元や土地利用に関する設問を全企業共有の項目へ変更</p>	<p>(‘21)CDP バイオ燃料の生産・消費に関する設問を新規追加</p>	<p>開示項目の拡充が進む（21年にはバイオ燃料が追加）</p>

気候変動を例とした企業の取組

サステナブル経営では目標を設定し、目標達成に向けた活動を様々なイニシアティブやツール・社内外の部隊と連携し、企業価値向上に効果的な取組を進めていくことが期待されます

